

トムス レクサスLS リヤバンパーディフューザー

このたびは、トムス リヤバンパーディフューザー（以下リヤディフューザー）をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。

本製品の取り付け方法を以下に記します。正しい取り付けをお願いいたします。本取り付け説明書は、「自動車整備技能検定3級合格者」程度の方を対象に記述してあります。用語等で不明な点は、整備解説書等をご参照してください。なお、取り付け等に関するお問い合わせは、弊社技術までお問い合わせください。本製品の内容及び付属品は、改良のため予告無く変更することがありますのでご了承ください。

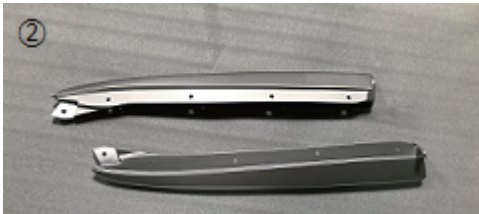
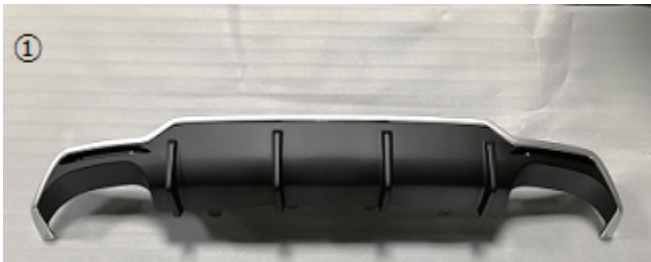
適応車種 本製品は以下の車種に対応しています。（2018年6月現在）

適応車種		
レクサス	LS（VXFA5#）	平成29年10月～
レクサス	LS（GVF5）	平成29年10月～

取り付け上のご注意 以下の注意を必ず守るようお願いいたします。

- 
- リヤディフューザー取り付け作業は、必ず作業者2人で行ってください。
 - リヤディフューザー脱落防止のため、両面テープは確実に圧着し、取り付けボルト等はしっかり締めてください。
また、走行前にゆりみがないかチェックしてください。
リヤディフューザーが脱落した場合は、重大事故につながる恐れがあります。
 - 車両をジャッキアップする際は、必ずリジットラック等で車両を固定してください。
 - ビス取り付けの際は手締めを行ってください。電動ドライバー等を使用しますと部品を破損する恐れがあります。
 - 両面テープの接着力促進剤として、必ずプライマーを塗布してください。
（詳しくは「3M PACプライマーK-200 取扱説明書」を参照の事）
ボディーコート塗布車両は、プライマーの接着力促進効果を発揮できない場合があります。プライマー塗布面のボディーコートは塗装用コンパウンド（細目以上）で剥離し、アルコール等で拭き取り除去してください。
 - 両面テープの接着力は、気温が15℃以下になると低下します。両面テープ及び接着面を加熱器等で温めてから貼り付けを行ってください。
 - 両面テープの接着力低下防止のため、本製品の装着直後（24時間以内を目安）の洗車は行わないでください。
両面テープの貼り直しをすると、接着力が極端に低下するため、貼り直しは行わないでください。
 - 純正用品及び他社製品との同時装着はできません。
 - スポイラー装着により、標準バンパーより全長約15mm長くなり地上高約22mm低くなります。
 - 本製品は車両登録後の取り付けを前提としています。登録前に取り付けをする場合は持ち込み登録となります。

構成部品 本製品は以下のパーツで構成されています。欠品や破損等が無いことをご確認ください。



- ①リヤバンパーディフューザーN°1 ×1
③ボルト(M6×16)ナット ×各10
⑤タッピングスクリュー(4×20) ×2

- ②リヤバンパーディフューザーN°2 ×2 (L/R)
④PACプライマー (N200) ×1

取付手順

1. 2. 3



4. 5. 6



7. 8



9.



1. 純正リヤバンパカバーを整備書を参考に
に取り外す。
(配線の切断, 損傷に注意する。)
2. リヤバンパカバーロアを取外し(再使用しない)、
リヤバンパカバーを車両へ復元する。

※取り外した部品は保管を推奨致します。
3. 純正リフレクター取外し。

4. ①リヤバンパーディフューザーNo1を
純正リヤバンパカバーへ仮合わせをす
る。
リヤバンパディフューザーNo1のアウト
ラインをマスキングテープでマーキング
する。(左図参照)
5. 3. で外した純正リフレクターを①リヤバンパ
ーディフューザーへ付替える。
6. 両面テープ貼付け部にPACプライマーを
塗布する。
※PACプライマー使用に際してはPACプライマー
取り扱い説明書を必ずお読みください。
7. 両面テープの離型紙をはがし、均一に力を
加えて圧着する。
8. ①リヤバンパーディフューザー中央下部を
純正のクリップを使用して固定する。
(4カ所)

注 意

プライマー使用に際しては、3M PACプ
ライマーN200取扱説明書に従い使用する。
乾燥の標準状態：23℃で10分～3時間
ほこり、汚れ、水滴が付着しないようにし、
十分に乾燥させる。
気温15℃以下では、加熱器を使用し温める。
塗装面を黄変させる為、はみだしたプライマ
ーはアルコール等で拭き取る。

9. リヤバンパーディフューザーNo2を車両に
仮合わせ、隙間等が無いかを確認する。
隙間が大きい場合は、○印部分のバンパ
ー側の穴を拡張して調整する。
10. ③ボルト&ナットを使用し固定する。
(5ヶ所) RH側も同様の手順で取付けを
行ってください。

【発売元】株式会社 トムス
東京都世田谷区等々力6-13-10
TEL 03-3704-6191

リヤバンパーディフューザー素地品の塗装手順

※素地品は塗装前に必ず仮取付けをして、各部に不具合がないか確認をしてください。

塗装後のクレームには応じません。

構成部品

- ①リヤバンパーディフューザーNo1 ×1
- ②リヤバンパーディフューザーNo2 (L/R) ×各1
- ③ボルト (M6×16) 、ナット ×各10
- ④PACプライマー ×1
- ⑤タッピングスクリュー (4×20) ×2

※塗装、作業前に不足品がないか必ずご確認ください。

I. 塗装作業手順

1. 塗装面の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで取り除き、必ず脱脂をする。
2. サフェーサー処理を行う。
3. 塗装を行う。塗装乾燥の加熱温度は40度以下で行うこと。

注意！

本製品はFRP製品のため適切な塗料を使用する。

注意！

40度以上の加熱は製品変形の恐れがある。